

世田谷区立喜多見小学校増築計画について

(付議の要旨)

世田谷区立喜多見小学校の増築工事及び特別支援学級の整備に係る計画がまとまったので、報告する。

1 趣旨

平成25年9月に策定された「世田谷区立小・中学校の適正規模化・適正配置に関する具体的な方策(第2ステップ)」に基づき、世田谷区立喜多見小学校について、今後予測される学級数増に対する教育環境の整備を行うとともに、特別支援教育の充実を図るため、校舎を増築することで、検討を重ね、増築の計画及び特別支援学級の整備についての計画をまとめた。

2 増築計画の概要

(1) 設計方針

必要教室数の確保及び特別支援教室の設置のため、校舎の一部を解体し、新たに校舎を増築するとともに、児童の増加による教員の増加に対応するため、職員室等の改修工事を行う。

(2) 建築概要

所在地(住居表示) 世田谷区喜多見三丁目11番1号
敷地面積 11,620.61㎡
構造・階数(増築棟) 鉄筋コンクリート造、地上3階建
建築面積 約700㎡(全体:約2,500㎡)
延床面積 約2,100㎡(全体:約6,200㎡)
主要室の構成(既存普通教室数20学級 増築後普通教室数23学級)

(増築部分)

【教室】 普通教室(3)、ワークスペース(5)

【特別教室】 家庭科室、音楽室(2)、郷土学習室、特別支援教室、新BOP室、便所、学校・地域会議室、多目的ルーム、エレベーター等

(改修部分)

職員室、保健室、図書室

(3) 概算工事費(本体工事、既設部分の改修工事、校庭整備工事、解体工事)

約8.3億円

(4) 仮設校舎に関わる費用(仮設校舎 S造2階 延床面積:700㎡)

約84百万円

3 特別支援学級の概要

(1) 設置理由

喜多見小学校の周辺地域に特別支援学級が設置されていないため、増築にあわせて設置する。(種別未定)

(2) 学級規模 2学級相当

(3) 開設時期 平成30年4月予定

4 工事工程

平成26年度 基本・実施設計

平成27年度 実施設計、仮設校舎建設

平成28年度 校舎一部解体、増築工事

平成29年度 増築工事、改修工事、仮設校舎解体、校庭整備工事

5 今後のスケジュール

平成26年7月24日 文教常任委員会報告

8月12日 教育委員会報告

9月中旬 住民説明会

1 喜多見小学校

児童数の推移・推計（平成20年度～平成31年度）

年 度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
児童数	646	677	671	688	674	688	681	692	710	731	740	756
学級数	19	19	19	20	21	20	20	21	22	23	22	22
普通教室の不足（平成25年度との差）							0	1	2	3	2	2

児童数増の要因など学校の教育環境を取り巻く状況

周辺の宅地化により、通学区域内の未就学児数が増加していることから、今後5年間で75人の児童数の増加が見込まれる。

喜多見小学校周辺エリアには特別支援学級が無いため、遠距離の学級に通わざるをえない実態がある。

年次ごとの具体的な対応

普通教室以外の用途に使用されていた場所を、普通教室に改修する。

児童数の顕著な増加に対応するために校舎を増築し、児童数・学級数に応じた普通教室を確保する。あわせて、学校運営上必要な諸室を整備する。

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
普通教室増 （転用戻し）		1（学習室）			
普通教室増 （改修）			1（PC室）	1（図書室）	
増築	条例・計画通知取得 ●——●——● 基本設計 実施設計		4 定上程 ●——●——●——●——● 解体 増築工事		供用開始 ●——●——●——●——● 外構整備工事
諸室整備			仮設校舎建設 仮設校舎利用		解体 普通教室、少人数教室、 多目的ルーム、PC室、 特別支援教室、新BOP 室、家庭科室、音楽室 （2）等

対応方策を実施した場合の児童数・学級数・普通教室数

年 度	25	26	27	28	29	30	31
児童数	688	681	692	710	731	740	756
学級数	20	20	21	22	23	22	22
普通教室数	20	20	21	22	23	23	23